

# 再処理企業協議会 かわら版 さいくる 2013年9月 第4号

構内作業に従事されている皆さまへ、あなたも“再処理企業協議会”の会員です！



今月の担当者

荒川 山口

2013年(平成25年)8月25日発行  
再処理企業協議会 広報部会  
〒039-3212  
青森県上北郡六ヶ所村大字尾駱字弥栄平1-5  
再処理企業センターB棟  
TEL (0175)71-2487 FAX (0175)71-2488  
URL <https://www.saisyori-kigyokogyokai.jp/>



再処理企業協議会

## 知識を深めて、「明るく！楽しく！元気良く！そして安全に！！」

### ◆再処理企業協議会 第3回 定例会◆

7月24日(水)、当協議会の第3回定例会を開催し、会員52社にご参加頂きました。  
冒頭、大内会長から会員各位における協議会活動への自主的参加に対する御礼の挨拶がありました。  
尾形事務局長からは当協議会における第1四半期の活動報告と今後の活動予定を紹介致しました。

#### ※今後の主な活動予定

- ・「職長教育」「職長・安全衛生責任者教育」：9月
- ・会報「さいくる 創刊号」発行：12月末



### ◆化学薬品の取扱いについて勉強しました◆

7月19日(金)、再処理企業協議会主催の第2回勉強会「化学薬品の取扱いについて」が開催され、34社80名が聴講されました。  
冒頭、株式会社ジェイテック山本講師の「私たちの現場(再処理工場)は化学プラントである」ことを認識して作業にあたらなければいけないという説明から始まり、同社製作のDVD「身近な化学薬品の危険性」を視聴しました。化学反応・化学熱傷(薬傷)化学物質の特徴が分かりやすく説明されていました。  
視聴後は、「再処理工場で取り扱う主な化学物質」と、「化学物質とリスク」について解説して頂きました。  
「そもそも安全などは存在しない。安全は結果である。常に存在するのは危険である」という言葉を肝に銘じて、これからの作業にあたりたいと思います。



### ◆協力会社事務系社員が再処理施設を見学！◆

7月22日(月)・23日(火)、再処理企業協議会主催の協力会社事務系社員対象の再処理施設見学会が行われました。  
この見学会は、再処理施設に従事されている協力会社事務系社員の方々に、普段接することができない再処理施設について、見学を通じて理解と知識を深めて頂くことを目的として実施しました。  
両日併せて19社65名の方々が参加し「高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター」「再処理工場中央制御室」「使用済燃料受入貯蔵施設」をいずれも見学者ルートの窓越しに見学しました。  
参加者は、案内者の説明に熱心に聞き入り、ときおり質問も飛び出すなど、関心の深さが伺えました。  
今回は早期に予定人員に達した為、募集を途中で締め切らせて頂くことになってしまい申し訳ございませんでした。当協議会では、今後もこの様な見学会を計画しています。皆様のご参加をお待ち致します。

#### 参加者の感想

- ・今回、再処理施設見学会に参加して、高レベル放射性廃棄物貯蔵センターや再処理工場中央制御室を窓越しに見学をすることが出来ました。また、中央制御室で仕事をしている同期をみかけて、同期が普段どのような場所で仕事をしているのかを知ることもできました。事務系の私たちが仕事をしていく中では普段に見ることのできない場所なので参加できてよかったです。(女性)
- ・私は今回の見学で多くのことを知りました。中でも使用済燃料受入貯蔵施設では、水中に沈む多くの使用済燃料は4年以上も冷却貯蔵し、放射線を減衰させていることを知りました。普段は机上業務で現場を知る機会はありませんが、多くの作業員によって原子燃料サイクルが成り立っていることを目で見て身近に感じることができました。このことを忘れずに日々の業務に取り組みたいと思いました。(女性)

### ◆日本原燃株式会社安全大会開催◆

7月3日(水)、六ヶ所村スワニーにおいて2013年度日本原燃(株)安全大会が開催され、約700名が参加しました。  
川井社長の主催者代表挨拶の後、ご来賓のむつ労働基準監督署長等からご挨拶を頂きました。  
安全活動発表は、品質保証室による「ヒューマンエラー低減に向けた取り組みについて」の発表で、2009年度からのヒューマンエラー発生件数の推移と要因別発生割合の説明でした。  
記念講演は、常葉大学経営学部山本教授による「原子力発電をめぐるエネルギー政策 日本の将来はどうなるのか」という演題で、日本経済の発展における原子力発電の必要性についてお話を頂きました。  
最後に、再処理事業部田中安全管理部長が大会決議を読み上げ、参加者全員で安全を誓いました。



#### 大会決議(抜粋)

- ・「世界一安全なサイクル施設」を目指す。
- ・「安全基本動作の徹底」を合い言葉に、労働災害を防止する。
- ・「地域社会の模範となる運転者」を目指し、交通災害を防止する。

### ◆再処理企業センター 防災訓練実施◆

7月26日(金)再処理企業センター(X15)において、地震による火災発生を想定した防災訓練が実施されました。  
協力会社24社154名に参加いただき、避難誘導班の指示のもと避難経路の確認、安否確認、自衛消防隊消火班による消火活動など緊急時の連携を確認しました。  
再処理企業センターでは初めての防災訓練でしたが、無事訓練を終え、災害発生に備えた訓練の重要性を改めて感じる事ができました。  
生憎の天候の中、防災訓練に参加されたみなさま、お疲れ様でした。



### ◆ミニ工場紹介◆

～共に手を携えて！！～

#### 【村上工場長からひとこと】



再処理企業協議会の皆様、こんにちは。  
この7月より再処理工場長に就任した、村上秀明でございます。  
皆様には、日頃より当社再処理工場の運営にご協力を賜り深く感謝しております。  
さて、再処理工場の現状ではありますが、ガラス固化設備にかかわるアクティブ試験も5月末に終了し、残す主な検査は、ガラス固化設備の処理能力の使用前検査となっております。しかしながら使用前検査受検にあたり、原子力規制委員会からは新規基準に適合しないと検査の実施、操業は認めないという見解が示されております。このような状況から、残念ながら、しゅん工時期は変更せざるを得ない状況ですが、新規基準の12月までの公布・施行後速やかに対応し、一日も早いしゅん工を目指して頑張りたいと考えております。そのためには、今後とも協力企業の皆様のお力が必要不可欠と考えております。共に手を携え、この難局を乗り越え、世界一の再処理工場を目指し取組んで参りましょう。今後とも再処理企業協議会の皆さんのますますのご発展をお祈りしております。  
< 次号からは、再処理工場の工程ごとにミニ工場を紹介してまいります。 >

#### 「編集後記」

6月にテレビ番組で「スロージョギング」によるダイエットを放送していた。これならば出来そうだと、少し早起きして妻と二人で挑戦をはじめた。約2ヶ月が経過したが、「なにか変わった?」、「ぜんぜん変化無し!」という残念な会話がが続いている。朝食が美味しく感じられ、食べる量が増えたことと、夕食のビールの量が増えたことが原因と分析している。友人にこれからは勝負と励まされながら続けている。皆さんも美味しいビールを飲むために「スロージョギング」をはじめませんか!